

校時表・時程表 の工夫

外国語の教科化などへの対応や、働き方改革の一環としての校務改善に向けて、校時表・時程表の工夫を課題に挙げる学校は多い。各教科等の年間授業時数の適正化が求められる中、1単位時間を40分とし、午前中に5時限を実施している小学校に、校時程設定の工夫や実施にあたってのポイント、成果を聞いた。

実践校

東京都 目黒区立中目黒小学校



校長
横溝宇人
よこみぞ・たかと



教務主任
玉村昌彦
たまむら・まさひこ
教務主任。
6学年担任。



研究主任
峯村幸信
みねむら・ゆきののぶ
研究主任。
6学年担任。

SCHOOL PROFILE

◎ 1901(明治34)年開校。学校教育目標は、「明るい子、考える子、たくましい子、思いやりのある子」。

校長 横溝^{たかと}宇人先生
 児童数 564人 学級数 19学級(うち特別支援学級1)
 電話 03-3711-7628
 URL <http://www.meguro.ed.jp/menkmgeh/>

単元計画と「マイプラン」でより効果的な授業を目指す

1単位時間を40分とし、午前中に5コマの授業を行う「午前5時間制」を推進している東京都目黒区。2002年度から導入している同区立中目黒小学校では、様々な改善を経て、2019年度は、午前中に5コマ、午後に最長80分間の授業を行い、週32コマを設定できる校時程とした(図1)。火・木曜日は掃除を省くことで、下校時刻を毎日そろえているのが特徴だ。この校時程の利点を、横溝^{たかと}宇人校長は次のように挙げる。

① 放課後に会議や研修の時間を確保しやすい

毎週木曜日の放課後には学年会を実施。翌週の予定の確認や気になる子どもの情報共有、教材研究などを行う。毎日の最終下校時刻を15時05分としているため、終業までに余裕をもって1時間程度を確保できる。

「行事や研究授業を曜日の制約なく設定できるほか、主要な授業を午前中に設定しているため、午後に授業ができなくても、授業進度への影響が抑えられます」(横溝校長)

② 教科・領域の特性に応じた学習活動を展開しやすい

午後の時間や2コマ続きの授業を活用して、実技教科や体験学習、発表会などをじっくり行うことができる。

③ 早寝・早起き・朝ご飯の生活習慣が整う

朝が早く、給食開始がやや遅いため、子どもがしっかり朝食を摂るようになり、生活リズムが整うようになった。

一方、1単位時間が5分少なくても授業の質を維持・向上するために、次の3点をポイントとして挙げる。

◎単元計画をしっかりと立てることが最も重要

導入8分間、展開27分間、終末5分間を基本とし、単元計画を立てて授業をデザインすることを徹底している。2年前に赴任した峯村幸信先生は、次のように語る。

「赴任当初は40分授業の時間感覚に慣れず、まとめの時間が足りなくなることがありました。そこで、1コマの時間配分を意識しながら、学年会で指導法を共有するうちに、今日は導入に時間をかけよう、課題をじっくり追究しようなど、導入・展開・終末を毎時間行わなくても、単元全体で目標を達成する授業づくりができるようになりました」

教務主任の玉村昌彦先生も、「午後を有効活用するためにも、単元を見通し、計画的に授業を進めることが必須です」と語る。

◎教員間の情報共有で指導力を支える

学年会を週1回必ず行うことで、単元計画や授業進度、課題などを共有しやすくなり、指導力向上だけでなく、授業の効率化にもつながっている。例えば、体育は同学年の

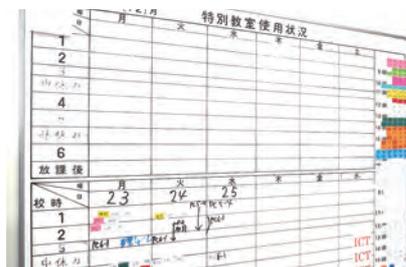


写真1 2週間分の予定を共有できるホワイトボード。体育館やパソコン教室、図書室、理科室などの特別教室を利用する際は、ここにクラスのプレートを貼って予約する。

図1 2019年度の生活時程(4年生以上)

3年生以上で実施。1週間の予定を確認し、生活の見通しや目標を持つ
 これまで月曜だった朝会を火曜に移動し、放送で実施。各教室で話を聞く
 児童集会、音楽朝会、学級共遊び、表彰朝会などを週替わりで実施

始	終	時間	月	火	水	木	金	
8:15	8:25	10	マイプラン	放送朝会	算数/読書	読書	児童集会等	
8:25	8:35	10	朝の会					
8:35	9:15	40	1	6	11	16	21	
9:20	10:00	40	2	7	12	17	22	
10:05	10:45	40	3	8	13	18	23	
10:45	11:05	15	中休み					
11:05	11:45	40	4	9	14	19	24	
11:50	12:30	40	5	10	15	20	25	
12:30	13:10	40	給食					
13:10	13:30	20	掃除	昼休み	13:15-20 5分間掃除	昼休み	掃除	
13:30	13:50	20	昼休み	26・27	13:25-40 マイタイム	28・29	昼休み	
13:50	14:10	20	30.5	13:30-14:55 うち5分休み	13:40-50 帰りの会	13:30-14:55 うち5分休み	32	
14:10	14:50	40	長時間(60分)		移動		長時間(60分)	
14:50	15:05	15/10	帰りの会	帰りの会	14:40 委員会	帰りの会	帰りの会	
					15:00 クラブ			
			下校時刻	15:05		15:05		

月・金は60分間、火・木は80分間の長時間学習が可能。60分間を30分間×2コマ、80分間を40分間×2コマとして、異なる教科で授業をすることも可能

水には、子どもが自分の学習を進める時間として、20分間の「マイタイム」を設定。時数にはカウントしない

火・木は掃除をなくし、授業時間が異なっても、最終下校時刻を15時05分にそろえた

校時程中の1~32の数字は、週の授業時数のカウント。
 *中目黒小学校提供資料を基に編集部で作成。

全学級を同じ日に設定。1時間目の学級が用具を準備し、2時間目は別の学級がそのまま授業で使用し、3時間目の学級が片づけるといった具合だ。体育館や特別教室の使用は、職員室のホワイトボードで共有・管理する(写真1)。

峯村先生は教材研究の方法が変わったと話す。

「教材研究では、その教科が得意な教員によく相談するようになりました。自分1人で考えるより効果的です」

◎子どもの自律的な行動を促す、月曜朝の「マイプラン」

2019年度には、3年生以上で、毎週月曜日の始業前10分間に週の予定などを確認する「マイプラン」を始めた。1週間の時間割を書いたプリントを配布し、授業内容や持ち物、提出物の締め切りなどを、教員が口頭で説明し、子どもと共有する取り組みだ(図2・写真2)。40分間をより効果的に進めたいと考えた玉村先生と峯村先生が、2018

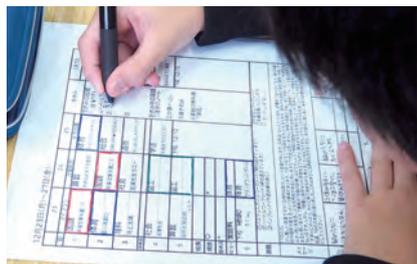


写真2 教員の説明を「マイプラン」に書き加えたり、重要事項に下線を引いたり、子どもが各自で工夫。重要事項でもあえてプリントに記載せず、話を聞きながらメモを取る練習の場になっている教員もいる。

図2 「マイプラン」6年生の例

	28	29	30	31	1
期	マイプラン	児童集会	朝学習	読み聞かせ	児童集会(合唱コンサ)
1	理科 水溶液の性質と働き	社会 近代国家に向けて	社会 近代国家に向けて	理科	算数
2	理科 水溶液の性質と働き	算数 比とその応用	英語 We can!	上段には、時間割と学習内容を記載。特別教室で行うなどの注意事項を、担任が口頭で伝える	
3	体育 マット運動(体育館)	国語 やまなし	音楽 ここの演劇(4)		
中休み					
4	国語 やまなし	道徳 自分らしさ	算数 比とその応用	音楽 響かな響き(音楽室)	家庭科 エプロンづくり
5	算数 比とその応用	子どもは、教室の移動が発生する授業を色枠で囲んだり、必要な持ち物を書き加えたりする		学活 話し合い活動	家庭科 エプロンづくり
給食					
掃除					
中休み					
中ダイ	総合	図工	クラブ	国語 漢字	体育
6	PC室: OceanResearch	水の流れるように(図工室)		社会	図工/音楽(体育館)
中ダイ					
自主学習					
7	漢字				
8	計算				
9	読書				
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
1					

下段は、書式を自由に変えられる。「担任からのメッセージ」など、各教員が工夫している

「マイプラン」のプリントは表計算ソフトを活用。週案を入力すると自動入力されるテンプレートを玉村先生が作成し、入力の手間がなるべく少なくなるようにした。

*中目黒小学校提供資料を基に編集部で作成。

年度、担任のクラスで試行。すると、子どもが授業の前に準備を済ませるようになり、導入がスムーズになったため、現在は3年生以上の全クラスで実施している。

「1週間の見通しが持てることで、授業準備や特別教室への移動など、子どもが日常生活を自律的に送れるようになっていきます。子どもの方から『先生、これを忘れてるよ』と言われることもあります」(玉村先生)

特別な支援を要する子どもも、先を見通せることで安心感を持ち、その落ち着きが学級の安定につながるという効果もあった。保護者にも、1週間の予定が分かると好評だ。

さらに、月曜日の朝会を火曜日に移動し、放送朝会に変えた。子どもの移動時間をなくして、1時間目の授業にスムーズに入れるようにするためと、横溝校長は説明する。

「全校児童が集まる場合は学校全体の様子を把握するために重要ですが、それは金曜の児童集会などで行っています」

そのほか、書くことが苦手な子どもへの対応など、今年度の取り組みの改善点を洗い出し、次年度も継続する予定だ。

「『マイプラン』では、子どもに1週間の目標も立てさせています。それを子どもが自分で学習内容を決めて取り組む水曜午後の『マイタイム』と連動させ、子どもの自律的な学びを実現したいと考えています」(横溝校長)